

# 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「対称性」。将棋盤は左右が対称で、駒の利きも左右対称です。しかし実戦の飛角の位置は左右非対称で、小駒の利きは上下非対称です。今回はそんな対称性・非対称性に焦点を当ててみました。

登場するのは初形が左右対称の作品、左右非対称ルールの「キルケ」の作品、そして点対称の概念を利用したルール「点鏡」の作品です。

このうち「点鏡」は初見の方も多はずなので、まずは定義と例題をご覧いただきたいでしょう。

**【点鏡】**55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。行き所のない駒の禁則は適用されない。

## 【例題】点鏡詰 1手

持駒 金

			1
	角	王	二
	歩		三
			四
			五
			六
			七
			八
			九
3	2	1	

◇解答 89金迄1手。

初手12金は98角や98桂（点鏡では98桂も反則ではない）で不詰。前に利く駒で受けると白玉への王手ですが、桂や角なら大丈夫です。正解の89金は21角を金の性能にする王手。同時に自らも角の利きになり12玉と逃げる手を防いでいます。点鏡では対称位置の着手と利きを常に意識してください。

## 【その他のルールの説明】

**【キルケ】**駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

（補足）

- (1) 成駒は生駒になって戻る。
- (2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩に

なったりする場合は戻れない。

- (3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

- (4) 金銀桂香（成駒も含む）が5筋で取られ複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

【●】不透過・不可侵の領域を表す。跳び越すことは可能。

			1
	●	●	二
	●		三
	角	桂	香
3	2	1	

例えば上図で、  
11桂成や31桂成は可。  
12香や11香成は不可。  
22角や11角は不可。

## 【出題作についての補足】

- ①は普通のばか詰。今回のお題とも無関係です。受方持駒制限にご注意。
- ②は2つの解を求める問題。キルケなので左右対称形からの左右対称解があっても、それらを同一視しません。
- ③④は点鏡ルール。④は2つ解があるのでなるべく両方求めてください。
- ⑤も受方持駒制限があります。初形に示された駒だけで解いてください。

懸賞

▼締切 6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail: k7ro.ts@gmail.com

メール解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

③神無太郎

点鏡ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
				王				三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角桂2

④占魚亭

点鏡ばか自殺詰 4手 (※2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
							王	九

持駒 飛

①たくぼん

ばか詰 107手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
			銀	銀				三
	桂	桂	桂	桂				四
	歩	ス	ス	ス	皇			五
	飛	ス	ス	ス	皇			六
			王		皇			七
王				王				八
								九

攻方持駒 歩9  
受方持駒 なし

⑤たくぼん

ばか自殺詰 40手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
		●	●	●	●	●		二
		●		王		●		三
		●	金	金	金	●		四
		●		金		●		五
		●		香		●		六
		●		王		●		七
		●	●	●	●	●		八
								九

攻方持駒 飛  
受方持駒 なし

②青木裕一

キルケばか詰 5手 (※2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
					銀			五
		皇			皇			六
		飛	王	飛				七
								八
								九

持駒 飛角